

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	有馬高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制的課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

これからのグローバル社会を自立してたくましく生き抜く人材の育成をめざし、チャレンジ精神、未来を切り拓く力等、生涯にわたって基盤となる資質・能力を育成するための教育に取り組む。

自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 次世代を担う人材育成をめざして、「チャレンジ精神」「未来を切り拓く力」「自ら課題を発見し解決する力」「主体的に学ぶ姿勢」等、これからのグローバル社会を自立して逞しく生き抜く資質・能力を育成する。
- 生徒一人ひとりの進路等の目標の実現のための学力を育成する。
- 様々な困難や課題を抱える生徒たちへの支援に向けた取組の充実を図る。
- 国際理解教育の推進を図り、海外姉妹校・ユネスコスクールとの交流等国际色豊かな学習環境を整える。
- 地域との連携・協働を一層推進し、共生社会の一員としての豊かな人間性や社会性を醸成する。
- 防災教育において「災害から命を守る」視点から安全教育を推進する。

3 計画策定時点での課題

- 次世代の人材育成を目指した生徒の資質・能力を育成するためにも、教職員全体で組織的な不断の授業改善を行い、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業展開の必要性を意識する必要がある。
- 生徒の進路支援をするために情報共有と学校全体での取組を図り、生徒一人ひとりの支援に向けた取組を行う必要がある。
- 困難や課題を抱える生徒と担当者との相談や面談等の時間の確保が難しい。
- 国際理解教育を教育課程に組み込むにあたり、家庭との協働が課題となる。また、ユネスコスクールについては学校全体の取組に向けた意識改革が必要である。
- 共生社会の一員として必要な社会性を育むために、教職員が一丸となって生徒の生活面の指導を行う必要がある。
- 海老名市や地元自治会など地域との連携を図った防災訓練や生徒への「災害から命を守る」視点を意識した安全教育を計画的に実施する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の推進を図り、国際色豊かな学習環境を整えグローバル社会生き抜く人材の育成を目指す。 ・「総合的な探究の時間」をとおして自ら課題を発見し解決する力を育成する。 ・組織的な授業改善を推進し「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を重視した教育活動の充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG's 総合探究、姉妹校交流、ユネスコスクールを体系化し、教科横断的教育活動を整理する。 ・「持続可能」をテーマに問題発見、解決能力の育成が図れるよう探究的な学習活動を行う。 ・組織的な授業改善に向け、教員全体での研究授業や教員研修を計画的に実施する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や特別活動等の満足感をとおして豊かな人間性を育み、規範意識の向上など社会性の醸成を目指す。 ・様々な困難や課題を抱える生徒を含め、すべての生徒一人ひとりの個に応じた生徒支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や特別活動への主体的参加を促し、活動の充実度を高め、自己理解や他者理解を深めることでキャリア形成を意識させるとともに、規範意識の涵養に努める。 ・様々な困難を抱える生徒やそのニーズに対応したSCやSSWと連携や柔軟な学びの体制を整える。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり学校生活の高い満足感を目指し、自らの志に基づく進路選択の実現に向けた支援体制を充実させる。 ・教科指導等と進路指導との連携を図り、キャリア教育を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を充実させ、早い時期から志望を具体化させ、進路決定への満足度を高める。 ・主体的に進路実現に向けた機会を選択できる体制を整える。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協働で安全教育を推進し、社会参画意識を高める。 ・コミュニティー・スクールをいかし、生徒と地域で学校づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域小学校との交流、地域行事参加、実践的な防災訓練をとおして個人および地域の安全対策意識の醸成を図る。 ・生徒とともに地域のニーズを理解した学校づくりを推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人格的資質・専門性の向上を図るとともに学校における不祥事防止を徹底する。 ・働き方改革の推進に向けて、組織的な取組を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修の実施し、職員の資質向上と事故・不祥事防止に努める。 ・業務の見直しを行い、校務・業務精査、組織的かつ計画的運営で働き方改革を推進する。